

留学先大学：Vytautas Magnus University

氏名：佐藤 誠

6月8日に最後の教科の期末テストを終え、夏休みになりました。期間は8月28日から授業が開始されるので2か月半ほどです。夏休み期間中は、スギハラハウスでのインターンシップや旅行を中心にしていきたいと考えています。

カウナスの中心地からバスで20分ほど離れた「第9要塞」に行ってきました。帝政ロシアによって19世紀に建設されたこの要塞は、第2次世界大戦中のナチス・ドイツの支配下の中、彼らのユダヤ人迫害政策によりリトアニア各地より5万人ほどのユダヤ人が収容された場所として知られています。資料館の中にはユダヤ人関連として杉原千畝の展示もありました。カウナスには、博物館が多くあり、学生は通常の半額で入場でき特に毎週水曜日は無料になる場所もあるので、リトアニアの歴史を身近に知れる機会が多いのでうれしいです。



[サマーハウスがあるのは当たり前!]

テスト期間中に気晴らしを兼ねて友達が彼のサマーハウスでお泊り会を開催してくれました。リトアニア人にとってサマーハウスがあることは一般的なようで、冬の期間外出しない分、温かい夏の間は外でゆったりと過ごす様子が街中でよく見られるので、納得できるかもしれません。

軽食として、煮物、ちらし寿司、唐揚げを作り持って行くと、喜んで食べてくれたので嬉しかったです。カウナスで日本の調味料を手に入れるのが難しいので、日本料理を1年間友達に振舞える程度の調味料を持ってこればよかったと後悔しています。



近くに川がありバーベキューをしたり、ボートに乗ったりと夏らしいことができ、そのあとのテスト勉強にも集中して取り組めたので息抜きも大切だと思いました。

[旅行]

期末テスト後、コペンハーゲン（6月9日～12日）、アテネ・サントリーニ島（6月14日～18日）、イスタンブール・カッパドキア（6月19日～24日）、ジョージア（6月25～27日）、キエフ（6月28・29日）へ旅行してきました。

韓国人の友達とデンマーク・コペンハーゲンへ
街の至る所で主に男性が育児をしているのが確認でき、
それが日常化されていることに感銘を受けました。



ギリシャ・アテネ
サントリーニ島へ
アテネの中心街は治安の悪さを
目に見えて感じましたが、憧れ
の遺産を見ることができ感動し
ました。

トルコ・イスタンブール、カッパドキアへ
外国人に対してとても親切な国で、何度も行きたくなるような国です。



ジョージア・トビリシへ
カウナスで食べたジョージア料理をきっかけに訪
れたいと思うようになりました。自分が日本人であ
ることを知ると無料でコーヒー豆を焙煎した粉末
をプレゼントしてくれたり、伝統的なパンを振舞っ
てくれました。もちろん本場の料理もおおいし
かったです。



ウクライナ・キエフへ

旧ソ連国ということもあり、所々でリトアニアと似ている部分を感じました。



現地に実際に足を運んでみると、自分がその国や人に対して持っていた固定観念に気づかされます。というのも私が現在住んでいる Baltija 寮では様々な国籍の人と共同生活をしており、約半年間過ごした中で例えば A 国出身の人に繰り返し自分の嫌なことをされてしまったときに、その A 国自体の文化を否定してしまい、A 国の人とは合わないだろうと勝手に決めつけてしまう時がありました。

しかし現地に行くと、道が分からずに迷っている時に積極的に助けられたり、自分からの質問に対しても優しく丁寧に答えたりしてくれる人がとても多く、旅行中は温かい気持ちになる場面がたくさんありました。このような経験を通じて、その人や文化を受け入れていくことの大切さを学びました。当たり前のことのように思えますが、私にとっては客観的に自分を見つめ直すことのできた良い経験になったと思います。

